

とおやま
遠山 優太 議員



問

公務員に対する兼業・副業の見解は

答

積極的な推進を検討したい

積極的に検討していきたい。

○再質問

町職員の兼業やテレワークを前提とした、先進的な採用に取り組む考えは。

奥山町長

町職員の兼業・副業を応援できる制度の構築を検討したい。

○再質問

不動産賃貸収入、農業、株式投資、フリマアプリでの物品販売、講演や執筆など法律や町規則以外の取扱基準について、本町には明確な基準がない。
国が定めている基準のほかに、近隣市町村に先駆けて本町独自の基準や制度導入の考えは。

奥山町長

地方公務員の職務専念義務を果たし、町民の理解を得ながら



▲兼業・副業できる制度づくりを

奥山町長

全国の事例などを研究する必要はあるが、今後の社会情勢では検討するべきと考えている。

さこう つとむ
酒向 勤 議員



問

特養建て替えの償還計画は

答

総事業費が確定した段階で示したい

○再質問

有利な起債の内容と借りられる枠は。

保健福祉課参事

有利な起債として想定される過疎債の償還期限は12年、金利0.8パーセント。後から交付税で7割補填される。

借りられる枠は毎年度違うので、現段階では回答できない。過疎債について、上川総合振興局と協議を進めているが、できるだけ有利な起債を活用したい。

○再質問

償還に関して多くの町民が心配している。少しでも解消したいので、その先の予定を聞きたい。

保健福祉課参事

実施設計が決まらなないと細かい数字は出ない。来年度の実施設計も含め、補助金のほか基金と起債を活用する。



▲補助金・有利起債の活用を